

第2期静岡市文化振興計画(案)へのパブリックコメント いただいた意見に対する具体的な修正対応内容

1 概要版「予想される将来像・成果」の修正及び本編冊子への追記

<意見概要>

- ・「文化でにぎわうまちづくり」の推進は、今後力を入れていくべき。
- ・アーティストとして活動することと、まちづくりとの関係性があると思えない。

<本市の考え方>

文化のちからにより、交流人口の増加を達成する事は本計画の重要な責務であります。そのためには一過性のにぎわい創出のみならず、多様なにぎわいの在り方によってまちの活性化を目指す必要があるため、これが市民の皆様にもわかりやすく発信される必要があると考え、表記を追記すべきと判断しました。

修正対応箇所	修正前	修正後
【概要版】 4. 目指す将来像 修正 【本編冊子】 P17 挿入	【概要版】 ソーシャル・インクルージョンの達成を最優先事項とし、整理していた。 【本編冊子】 いただいた意見に該当する表記なし。	【概要版】 にぎわいの創出を最優先事項として整理し直しました。 また、この活動の重要性が表現できるよう、イメージ図を修正しています。 【本編冊子】 個の活動の重要性並びにまちづくりへの関わり方について追記しました。

2 計画全体の成果指標の修正

<意見概要>

- ・「文化でつながるまちづくり」と「文化でにぎわうまちづくり」の成果指標が似通っているのではないか。
- ・2種類の「にぎわい」を考えているとしているが、「文化でにぎわうまちづくり」の成果指標からはこれがわからない。視点の目指す方向性に合った成果指標を設けるべきではないか。

<本市の考え方>

「文化でつながるまちづくり」はソーシャル・インクルージョンに向けた達成基準として検討したものでした。ご意見のとおり「にぎわうまちづくり」との類似性があると思われたため、市民の方にもわかりやすい「つながるまちづくり」を成果指標に設定する事としました。また、「にぎわうまちづくり」については定性的、定量的の両面から評価していく必要があると整理しましたので、成果指標を2つに分け、本市における文化による観光交流客数を追加する事としました。それぞれ、下表のとおり整理しています。

修正前

項 目	令和3年 時点	令和12年の 成果指標
【文化でつながるまちづくり】静岡市は様々な要因に関わらず、誰もが文化施設を利用したり、祭りやイベント・文化活動に参加しやすいまちだと思ふ市民の割合	51.0%	65%
【文化でにぎわうまちづくり】自分自身や周りの人は、祭りやイベントなどの文化事業に参加したり、交流したりする機会があると思ふ市民の割合	43.5%	55%

修正後

項 目	令和3年 時点	令和12年の 成果指標
【文化でつながるまちづくり】自分自身が、家族や職場・学校以外で文化による「人とのつながり」を持つ機会があると答えた市民の割合	54.3%	65%
【文化でにぎわうまちづくり①】自分自身や周りの人は、祭りやイベントなどの文化事業に参加したり、交流したりする機会があると思ふ市民の割合	43.5%	55%
【文化でにぎわうまちづくり②】本市市内における文化による交流客数の増加	7,332,000 人	7,558,000 人